

県土 第 32-2 号の 3

令和 7 年 1 月 30 日

名張市長 北川 裕之 様

三重県知事 一見 勝之

名張市公共下水道事業計画（変更）協議申出書について

令和 7 年 1 月 21 日付け名下建第 231 号をもって協議の申出のあった標記については、下水道法第 4 条第 2 項の規定により、協議を了する旨通知します。



令和6年度
名張市公共下水道事業計画
(中央・南部処理区)

変更協議申出書

令和7年1月

三重県名張市

名下建 第 231 号

令和 7 年 1 月 21 日

三重県知事 一見 勝之 様

名張市長 北川 裕之

(公印省略)

名張市公共下水道事業計画(変更)協議申出書について

標記について、下水道法第4条第2項の規定により、関係書類並びに図書を添えて協議を申し出ます。



**〔１〕名張市公共下水道事業計画の変更を必要とする
理由及び変更点**

事業計画の変更理由

名張市公共下水道は、平成 10 年度に都市計画決定を行った後、下水排除方式を分流式とする単独公共下水道と定めた第一期事業として、中央処理区の事業認可を受け整備に着手している。その後、7 度の事業計画変更を経て、令和 5 年度末において、中央処理区、及び南部処理区を含む事業計画区域約 1,403ha のうち約 1,066ha (約 76%) の整備を完了し供用に至っている。

一方、三重県では、本事業の上位計画である『淀川水系木津川上流水域流域別下水道整備総合計画（以下、「木津川流総計画」という）』が策定されており、近年の社会状況を反映し行政区人口の大幅な下方修正を行っている。本事業においても、木津川流総計画との整合を目的として、将来人口予測の下方修正を見込んだ計画人口・計画汚水量原単位等を見直し、中央浄化センター現有敷地内での処理可能量を勘案した処理区の再編を行い、計画処理区を中央処理区と南部処理区の 2 処理区とし、また、生活排水基本構想及び下水道全体計画の見直し並びに、下水道法改正に伴う新たなエッセンスを反映した事業計画の策定を行い、整備を進めてきている。

しかしながら、既事業計画の認可を受けた令和 2 年度から、新型コロナウイルスが世界的に流行し、管渠施設整備に向けた地元説明会や、現地立会等調整・遅延など、設計業務へ直接影響が出た事や、処理場建設においても、世界的なサプライチェーンの寸断による、半導体関連の影響が下水道分野にも及び、機器の納品が遅れるなど、不測の日数を要してきた。

上記、処理場については、生活排水処理施設が、令和 5 年度末に完成し、供用開始となっているが、今後は、水処理施設の増設と共に、効果促進事業による既存し尿処理施設の撤去に向け、調査・設計を行い、地元、並びに関係機関と調整を行う。

また、区域拡大に伴う、管渠施設整備については、大小 5 つの住宅地汚水処理施設を含む統合（合併処理浄化槽など）と、管路施設の公共への移管が発生する事から、事前調査や、地元、施設関係者との移管協議などに不測の期間を要してきている事や、物価高騰等の影響による財源不足等により、計画年度の先送りも発生しているところである。

以上のことから、今回、効率的な下水道整備の推進及び公共用水域の水質汚濁防止を図るために、下記項目について事業計画を変更する。

記

1. 事業期間の延伸

事業期間を令和 7 年度から令和 11 年度まで 5 年間延伸する。

〔2〕名張市公共下水道事業計画書

公共下水道管理者
工事着手の年月日
工事完成の予定年月日

名 張 市 長
平成 11 年 2 月 10 日
令和 8 年 3 月 31 日
令和 12 年 3 月 31 日



(第1表)

予 定 処 理 区 域 調 査 (汚 水)			
予定処理区域の面積	約1403 ヘクタール	予定処理区域内の地名	三重県名張市 『区域は、下水道計画一般 図表示の通り』
処理区の名称	面 積 (単位：ヘクタール)	摘 要	
中央処理区	約1054	将来、南部処理区 として統合	
南部百合が丘処理区	約128		
南部つつじが丘処理区	約167		
南部春日丘処理区	約47		
南部南百合が丘処理区	約7		

(第2表) 計画降雨 該当無し

(第3表)

吐 口 調 書 (汚 水)							
処理区の名 称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	放流先の名称	放流先の水位	摘要
中央 処理区	処理施設	中央浄化 センター 放流渠	名張市蔵持 町里字田尻	17,100 16,700 (日最大)	一級河川 シャック リ川	T. P. +178.60	将来、 南部処 理区と して 統合
南部 百合が丘 処理区	処理施設	南部百合が丘 処理場 放流渠	名張市 百合が丘西 1 番町	2,930 2,840 (日最大)	雨水管渠 (一級河川 名張川)	T. P. +193.289	
南部 つつじが丘 処理区	処理施設	南部 つつじが丘 処理場放流渠	名張市 つつじが丘 8 番町	4,400 4,270 (日最大)	一級河川 名張川	T. P. +208.488	
南部 春日丘 処理区	処理施設	南部春日丘 処理場 放流渠	名張市 春日丘 1 番町	590 (日最大)	一級河川 青蓮寺川	T. P. +199.359	
南部 南百合が丘 処理区	処理施設	南部 南百合が丘 処理場 放流渠	名張市 箕曲中村	210 (日最大)	一級河川 釜石川	—	

(第4表)

管 渠 調 査 (汚 水)				
処理区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
中央 処理区	φ75～φ900	27,040	57	方法：マンホール内からの 管内目視若しくは管口 テレビカメラを用いる。 点検頻度：5年に1回以 上。
合 計		27,040	57	

管 渠 調 査 (汚 水)				
処理区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
南部 百合が丘 処理区	φ250～φ400	3,680	3	方法：マンホール内からの 管内目視若しくは管口 テレビカメラを用いる。 点検頻度：5年に1回以 上。
南部 つつじが丘 処理区	φ200～φ600	2,900	0	
南部 春日丘 処理区	φ250	670	0	
南部 南百合が丘 処理区	—	—	—	
合 計		7,250	3	

(第5表-1)

処 理 施 設 調 書								
終末処理場 等の名称	位 置	敷地面積 (単位 :ヘクタール)	計画放流 水 質 (mg/リットル)	処 理 方 法	処 理 能 力		計画処理 人口 (人)	摘 要
					晴天日最大 (単位:立法 メートル)	雨天日最大 (単位:立法 メートル)		
中央浄化 センター	名張市 蔵持町里 字川原	約 2.6	BOD 15 T-N 14.0 T-P 2.1	ステップ流入式 多段硝化脱 窒法(凝集剤 添加)	19,200	—	35,400 34,480	計画下水量 (日最大) 17,100m ³ /日 16,700m ³ /日 長期目標 R22 ・ステップ流入式多 段硝化脱窒法(凝 集剤添加)+急速 ろ過 ・BOD15、T-N8、 T-P0.8 中央浄化センター へ市内のし尿・浄 化槽及び南部4処 理場並びに農集汚 泥受入に伴い、伊 賀南部浄化センタ ーを廃止
南部 百合が丘 処理場	名張市 百合が丘 西3番町	約 0.4	BOD 15	標準 活性 汚泥法	3,000	—	6,260 6,070	計画下水量 (日最大) 2,930m ³ /日 2,840m ³ /日 濃縮汚泥を中央 浄化センターへ 搬入して脱水
南部 つつじが 丘処理場	名張市つ つじが丘 北9番町	約 0.5	BOD 15	標準 活性 汚泥法	4,400	—	9,390 9,120	計画下水量 (日最大) 4,400m ³ /日 4,270m ³ /日 濃縮汚泥を中央 浄化センターへ 搬入して脱水
南部 春日丘 処理場	名張市 春日丘 1番町	約 0.3	BOD 15	標準 活性 汚泥法	600	—	1,240 1,250	計画下水量 (日最大) 590m ³ /日 濃縮汚泥を中央 浄化センターへ 搬入して脱水
南部 南百合が丘 処理場	名張市南 百合が丘	約 0.1	BOD 15	標準 活性 汚泥法	300	—	450 440	計画下水量 (日最大) 210m ³ /日 濃縮汚泥を中央 浄化センターへ 搬入して脱水

(第5表-2)

処理施設の敷地内の主要な施設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
中央浄化 センター	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.47 m ³ /秒	1/1
	沈 砂 池	2 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 1,800m ³ /m ² ・日	土木：2/2 設備：2/2
	主ポンプ設備	4 台	汚 水 ポ ン プ	約 8.2 m ³ /分/台 約 11.8 m ³ /分/台	2/2 2/2 内予備 1 台
	最初沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 50m ³ /m ² ・日	2/2 池
	反 応 槽	3 池	鉄筋コンクリート 造	HRT 約 13 時間	3/3 池
	最終沈殿池	3 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 15 m ³ /m ² ・日	3/3 池
	送 風 機	3 台		風量 33 m ³ /分・台 風量 41 m ³ /分・台	2/2 1/2 内予備 1 台
	塩素滅菌池	1 池	鉄筋コンクリート 造	接触時間 約 15 分以上	1/1
	放流ポンプ設備	4 台	汚 水 ポ ン プ	約 8.2 m ³ /分/台 約 11.8 m ³ /分/台	2/2 2/2 内予備 1 台
	放 流 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.47 m ³ /秒	1/1

処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
中央浄化センター	汚泥濃縮槽	2池	鉄筋コンクリート造り・重力式	固形物負荷率 約 75kg/m ² ・日	汚泥処理棟内（既設） 土木：2/2、設備：2/2
	汚泥貯留槽	6槽	鉄筋コンクリート造	約 64 時間	汚泥処理棟内（既設） 土木：2/2、設備：2/2 前処理・汚泥処理棟内 土木：4/4、設備：4/4 下水道広域化推進総合事業
	汚泥脱水機	4台	機械式	投入固形物量約 6t/日	汚泥処理棟内（既設） 2/2(CH4/4)、 前処理・汚泥処理棟内 2/2 下水道広域化推進 総合事業
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造	監視室、事務室、水質 試験室、会議室、換気 機械室等	1/1
	送風機棟	1棟	鉄筋コンクリート造	送風機室、発電機室、 換気機械室等	1/1
	水処理覆蓋 施設（建屋式）	1棟	鉄筋コンクリート造	最初沈殿池～ 最終沈殿池	3/3
	汚泥処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造	脱水機室、汚泥濃縮 槽、汚泥貯留槽、脱臭 機室、換気機械室、汚 泥分配槽、汚泥ケーキ 搬出室等	1/1
	前処理・汚泥 処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造	電気室、脱水機室、汚 泥貯留槽、脱臭機室、 換気機械室、汚泥ケー キ搬出室、搬入室、薬 品室、監視室、し尿受 槽、し尿希釈槽、外部 汚泥受入槽、ポンプ 室、二次処理水槽等	1/1 下水道広域化推進 総合事業 市内のし尿・浄化槽及 び南部 4 処理場並びに 農集汚泥（合計 508 m ³ /日）を受入
	沈砂池ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造	ホッパー室、機械室、 電気室、換気室等	1/1
	放流ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造	塩素滅菌池（下部）、 放流ポンプ室等	1/1

(第5表-2)

処 理 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
南部 百合が丘 処理場	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	沈 砂 池	1 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 1,800m ³ /m ² ・日	1 / 1
	主ポンプ設備	6 台	汚 水 ポ ン プ	約 1.4 m ³ /分/台	6 / 6 台 内予備 2 台
	反 応 槽	4 池	鉄筋コンクリート 造	HRT 約 8 時間	4 / 4 池
	最 終 沈 殿 池	4 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 20 m ³ /m ² ・日	4 / 4 池
	送 風 機	5 台		風量約 8.4m ³ /分・台	5 / 5 台 内予備 1 台
	塩素接触タンク	1 池	鉄筋コンクリート 造	接触時間 約 15 分以上	1 / 1
	放流ポンプ設備	3 台	汚 水 ポ ン プ	約 3.6 m ³ /分/台	3 / 3 台 内予備 1 台
	放 流 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	重 力 濃 縮 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	固形物負荷 約 75 kg/m ² ・日	1 / 1
	汚 泥 貯 留 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	約 48 時間	1 / 1
	管 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート 造	運転操作室、 発電機室、 脱臭機室等	1 / 1
	自家発電設備	1 台		発電容量 約 40 kVA	1 / 1

(第5表-2)

処 理 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
南部 つつじが丘 処理場	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	沈 砂 池	2 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 1,800m ³ /m ² ・日	2 / 2
	主ポンプ設備	3 台	汚 水 ポ ン プ	約 4.0 m ³ /分/台	3 / 3 台 内予備 1 台
	反 応 槽	4 池	鉄筋コンクリート 造	HRT 約 8 時間	4 / 4 池
	最 終 沈 殿 池	4 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 20 m ³ /m ² ・日	4 / 4 池
	送 風 機	3 台		風量約 16.8m ³ /分・台	3 / 3 台 内予備 1 台
	塩素接触タンク	1 池	鉄筋コンクリート 造	接触時間 約 15 分以上	1 / 1
	放 流 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	重 力 濃 縮 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	固形物負荷 約 75 kg/m ² ・日	1 / 1
	汚 泥 貯 留 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	約 48 時間	1 / 1
	管 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート 造	管理室	1 / 1
	自家発電設備	1 台		発電容量 約 40kVA	1 / 1

(第5表-2)

処 理 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
南部 春日丘 処理場	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	沈 砂 池	1 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 1,800m ³ /m ² ・日	1 / 1
	主ポンプ設備	3 台	汚 水 ポ ン プ	約 3.5 m ³ /分/台	3 / 3 台 内予備 1 台
	反 応 槽	4 池	鉄筋コンクリート 造	HRT 約 8 時間	4 / 4 池
	最 終 沈 殿 池	2 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 20 m ³ /m ² ・日	2 / 2 池
	送 風 機	3 台		風量約 3.3m ³ /分・台	3 / 3 台 内予備 1 台
	塩素接触タンク	1 池	鉄筋コンクリート 造	接触時間 約 15 分以上	1 / 1
	放 流 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	重 力 濃 縮 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	固形物負荷 約 75 kg/m ² ・日	1 / 1
	汚 泥 貯 留 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	約 48 時間	1 / 1
	管 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート 造	発電機室	1 / 1
	自家発電設備	1 台		発電容量 約 55 kVA	1 / 1

(第5表-2)

処 理 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
南部 南百合が丘 処理場	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	沈 砂 池	1 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 1,800m ² /m ² ・日	1 / 1
	主ポンプ設備	2 台	汚 水 ポ ン プ	約 0.3 m ³ /分/台	2 / 2 台 内予備 1 台
	反 応 槽	2 池	鉄筋コンクリート 造	HRT 約 8 時間	2 / 2 池
	最 終 沈 殿 池	1 池	鉄筋コンクリート 造	水面積負荷 約 20 m ³ /m ² ・日	1 / 1 池
	送 風 機	3 台		風量約 1.2m ³ /分・台	3 / 3 台 内予備 1 台
	塩素接触タンク	1 池	鉄筋コンクリート 造	接触時間 約 15 分以上	1 / 1
	放流ポンプ設備	2 台	汚 水 ポ ン プ	約 0.3 m ³ /分/台	2 / 2 台 内予備 1 台
	放 流 渠	1 式	鉄筋コンクリート 造	流量 約 0.1 m ³ /秒	1 / 1
	重 力 濃 縮 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	固形物負荷 約 75 kg/m ² ・日	1 / 1
	汚 泥 貯 留 槽	1 槽	鉄筋コンクリート 造	約 48 時間	1 / 1

(第6表) ポンプ施設 該当無し

(第7表) 貯留施設 該当無し

○

○